

母集団（案）にかかる指定・選定地域

各地域に関する説明

- 1．自然環境保全法に基づく各種地域
- 2．保護林（森林生態系保護地域）
- 3．自然公園（国立・国定公園）
- 4．名勝・天然記念物
- 5．重要地域
- 6．重要湿地
- 7．自然景観資源調査

1. 自然環境保全法に基づく各種地域

昭和47年に制定された「自然環境保全法」に基づき国が指定する原生自然環境保全地域及び自然環境保全地域は極力、自然環境をそのまま維持しようとする地域であり、生物多様性の保全にとって、重要な役割を担っている地域である。

(1) 原生自然環境保全地域

原生自然環境保全地域は、原生状態を保持し一定のまとまりを有している自然地域を指定し、自然の推移にゆだねるとの方針の下、自然を改変する行為を原則として禁止する等厳格な行為規制等によって原生的な自然環境の保全を図る制度であり、わが国固有の生態系の保全、原生自然に生息・生育する生物種の保全等生物多様性の確保の核心的な地域をなしている。本地域はこれまでに、5地域(すべて国公有地、総面積5,631ヘクタール(平成13年3月現在))が指定されている。指定要件は次の通り。

人の活動によって影響を受けることなく、原生状態を維持している

1,000ha(島にあっては300ha)以上の土地であること。

国公有地であって保安林の区域でないこと。

当該自然環境を保全することが特に必要であること。

(2) 自然環境保全地域

自然環境保全地域は、すぐれた天然林が相当部分を占める森林、すぐれた状態を維持している海岸、湖沼、湿原、河川、海域等の水辺地、すぐれた状態を維持している動植物の生息・生育地等で一定のまとまりを有する地域を指定し、行為規制、保全事業等を計画的に進めることにより保全を図る制度である。具体的には、次のいずれかに該当する地域で自然環境を保全することが特に必要な地域を指定しているものであり、我が国固有の生態系の保全、そこに生息・生育する種の保存といった観点から生物多様性の保全を担っている。

高山性・亜高山性植生(1,000ha以上)

すぐれた天然林(100ha以上)

特異な地形・地質・自然現象(10ha以上)

すぐれた自然環境の海岸、湖沼、湿原、河川、海域(10ha以上)

植物の自生地、野生動物の生息地・繁殖地及び貴重な人工林(10ha以上)

自然環境保全地域一覽

原生自然環境保全地域

地域名	面積 (ha)
遠音別岳	1,895
十勝川源流部	1,035
大井川源流部	1,115
南硫黄島	367
屋久島	1,219
合計	5,631

自然環境保全地域

地域名	面積 (ha)
大平山	674
白神山地	14,043
早池峰	1,370
和賀岳	1,451
大佐飛山	545
利根川源流部	2,318
笹ヶ峰	537
白髪岳	150
稲尾岳	377
崎山湾	128
合計	21,593

2. 保護林

国有林野事業においては、大正4年に保護林制度を発足させて以来、保護林は貴重な動植物の保護や学術研究等の面で重要な役割を担い、先駆的な自然環境の保全制度として機能してきたところであるが、平成元年度に保護林をその目的に応じて下表の7種類に再編・区分し、それぞれの設定目的に応じた管理を行うこととした。

平成14年4月1日現在、森林生態系保護地域を含めて552,021haの保護林が設定されており、今後とも保護林の維持・拡充を進めることにしている。

種 類	目 的	箇所数	面積(ha)
1 森林生態系保護地域	原生的な天然林を保存することにより、森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、森林施業・管理技術の発展、学術研究等に資する。	26	320,018
2 森林生物遺伝資源保存林	森林と一体となって自然生態系を構成する生物の遺伝資源を森林生態系内に保存し将来の利用可能性に資する。	12	35,840
3 林木遺伝資源保存林	主要林業樹種及び稀少樹種等に係る林木遺伝資源を森林生態系内に保存し、将来の利用可能性に資する。	329	9,239
4 植物群落保護林	我が国又は地域の自然を代表するものとして保護を必要とする植物群落及び歴史的、学術的価値等を有する個体の維持を図り、併せて森林施業・管理技術の発展、学術研究等に資する。	356	138,036
5 特定動物生息地保護林	特定の動物の繁殖地、生息地等の保護を図り、併せて学術研究等に資する。	32	16,391
6 特定地理等保護林	我が国における特異な地形、地質等の保護を図り、併せて学術研究等に資する。	34	30,112
7 郷土の森	地域における象徴としての意義を有する等により、森林の現状の維持について地元市町村の強い要請のある森林を保護し、併せて地域の振興に資する。	32	2,385
合 計		821	552,021

資料：林野庁業務資料

注：平成14年4月1日現在

森林生態系保護地域の概要

平成14年4月1日現在 (その1)

名称	面積 (ha)			森林生態系の特徴		年月日
	保存地区	保全利用地区	合計	植 物	動 物	
日高山脈中央部	43,957	22,396	66,353	日高側は針葉樹林及び針広混交林、十勝側は広葉樹林中腹以上はダケカンバ帯からハイマツ帯に至る	ヒグマ、ナキウサギ、ミヤマクゲネズミ等の哺乳類、クマゲラ、エゾライチョウ等の鳥類、カラフトトリシジミ等の昆虫類	平成7年4月1日
漁岳周辺	1,512	1,755	3,267	大雪山等道央のエゾマツ・トドマツ林と渡島半島のブナ林との移行地域として重要でブナを欠く広葉樹林から針広混交林、さらにはダケカンバ帯に至る	ヒグマ、エゾシカ、エゾクロテン等の哺乳類、クマゲラ、エゾライチョウ等の鳥類、エゾチツゼミ、ジョウザンシジミ等の昆虫類	平成8年4月1日
大雪山忠別川源流部	2,129	8,743	10,872	下部のエゾマツ・トドマツの北方針葉樹林からダケカンバ帯、さらにはハイマツ帯に至る	エゾヒグマ、エゾナキウサギ等の哺乳類、クマゲラ等の鳥類、ウスバキチョウ等の蝶類等	平成6年1月31日
知床	25,821	9,639	35,460	冷温帯汎針広混交林、高山植生、海浜断崖植生等	エゾヒグマ、エゾシカ等の哺乳類、シマフクロウ、オシロワシ、クマゲラ等の鳥類等	平成2年4月25日
狩場山地須築川源流部	1,408	1,324	2,732	下部はブナ天然林の集団としての北限、上部はダケカンバ帯、ハイマツ帯に至る	エゾクロテン、エゾヒグマ等の哺乳類、クマゲラ等の鳥類等	平成5年1月29日
恐山山地	709	478	1,187	ヒノキアスナロ及びブナ等を中心として土地的・気候的極相を示す冷温帯森林を構成	ニホンザル、ニホンカモシカ、等の哺乳類、アオゲラ、キセキレイなどの鳥類等	平成7年3月29日
早池峰山周辺	5,042	3,102	8,145	ブナ、ヒノキアスナロ等の天然林とアカエゾマツ南限	ニホンカモシカ、ツキノワグマ、コキクガシラコウモリ、ヤマネ等の哺乳類、クマタカ、イヌワシ、ノゴマ等の鳥類等	平成5年8月20日
白神山地	10,139	6,832	16,971	ブナを中心とした冷温帯落葉広葉樹林	ニホンカモシカ、ツキノワグマ、ニホンザル、ホンドオコジョ等の哺乳類、クマゲラ、ビンスズメ等の鳥類等	平成2年3月29日
葛根田川・玉川源流部	7,136	2,255	9,391	下部はブナの極相林、上部はオオシラビソを主とする天然林	ツキノワグマ、ニホンカモシカ、モモンガ等の哺乳類、クマゲラ等の鳥類等	平成3年4月1日
栗駒山・栃ヶ森山周辺	9,130	7,180	16,309	日本海型から太平洋型への移行帯における優れたブナ林、山頂付近はミヤマナラ、ハイマツの低木混交林	ツキノワグマ、クロホオヒゲコウモリ、ヤマネ等の哺乳類、イヌワシ、クマタカ、クマゲラ等の鳥類等	平成6年3月22日
飯豊山周辺	11,809	15,442	27,251	山地帯は広大なブナ林、高山帯には固有種のイイデリンドウをはじめとする170種に及び多様な高山植物	ツキノワグマ、ニホンカモシカ等の大型哺乳類、イヌワシ、オオタカ、クマタカ等の大型鳥類	平成4年3月30日
吾妻山周辺	5,738	5,957	11,695	顕著な亜高山帯針葉樹林とブナが特徴的であり、シラベの北限ともなっている。	ニホンカモシカ、ヤマネ、ニホンザル等の哺乳類、イヌワシ、ハヤブサ等の鳥類等	平成7年2月24日
利根川源流部・燧ヶ岳周辺	3,862	18,974	22,835	ブナ、オオシラビソ、クロベ、キタゴヨウ等の天然林とミヤマナラ等の多雪地広葉樹低木林	ツキノワグマ、ニホンカモシカ等の哺乳類、イヌワシ等の鳥類等	平成2年3月31日
佐武流山周辺	7,020	5,773	12,793	日本海側の典型的な豪雪地帯のブナ林、亜高山帯はオオシラビソ、シラベ、キタゴヨウの針葉樹林	ニホンカモシカ、ヤマネ、ツキノワグマ、オコジョ等の哺乳類、イヌワシ等の鳥類等	平成5年1月29日
小笠原母島東岸	395	108	503	亜熱帯植生であり、山地にはシマホルトノキ、オガサワラグワ等の湿性高木林が分布	オガサワラオオコウモリ、アカガシラカラスバト、ハジマメグロ等小笠原固有種が多数生息	平成6年3月22日
南アルプス南部光岳	1,827	2,739	4,566	ブナ、ミスナラの落葉広葉樹からツガ、シラベ、分布の南限であるハイマツ等の垂直分布	ツキノワグマ、ニホンカモシカ、ニホンザル等の哺乳類、ライチョウ等の鳥類等	平成2年3月31日

(その2)

名称	面積 (ha)			森林生態系の特徴		年月日
	保存地区	保全利用地区	合計	植物	動物	
中央アルプス木曾駒ヶ岳	1,813	2,328	4,140	日本海型から太平洋型気候の推移帯で、ヒノキ、サウラ、ネズコ、シラビソ、コメツガ、ダケカンバ、ハイマツ等の多種多様な植物からなる森林の垂直分布	ツキノワグマ、ニホンカモシカ、ホンドウコジョ等の哺乳類、イヌワシ、クマタカ等の鳥類等、ミヤマモンシロチョウ、オオイチモンジ等の蝶類等	平成8年3月29日
北アルプス金木戸川・高瀬川源流部	5,468	2,631	8,099	山地帯のクロベ、亜高山帯のシラビソ、オオシラビソ及びダケカンバ、高山帯におけるコケモモやハイマツ等の本州内陸型の代表的な植生	ニホンカモシカ、ヤマネ等の哺乳類、イヌワシ、クマタカ、ライチョウ等の鳥類の他、タカネヒカゲ等の蝶類等	平成6年3月22日
白山	6,026	8,800	14,826	ブナ、分布の西限であるハイマツ・オオシラビソ等	ツキノワグマ、ニホンカモシカ等の哺乳類、イヌワシ、クロジ等の鳥類等	平成2年3月29日
大杉谷	509	882	1,391	スギ、カシ、タブ、ブナ、トウヒ、コメツガ等の垂直分布	ツキノワグマ、ニホンカモシカ、ニホンジカ等の哺乳類、ヒガラ等の鳥類等	平成3年3月28日
大山	1,197	1,996	3,193	日本海型ブナ林地域で、亜高山帯には特別天然記念物のダイセンキヤラボク群落が分布	ヤマネ、オオサンショウウオの他、ミヤマカラスアゲハ、ウスイロヒヨウモンモドキ等の100種以上の蝶類	平成4年3月30日
石鎚山系	1,230	3,015	4,245	暖温帯性のウラジロガシから亜寒帯性のシラベまでの垂直分布	ヤマネ、ヒメヒメズモグラモリアブラコウモリ等の哺乳類等	平成2年3月29日
祖母山・傾山・大崩山周辺	1,580	4,398	5,978	アカガシ、ツバキ等の常緑広葉樹からツガ、モミ、ブナ、ヒメコマツの垂直分布	ニホンカモシカ、ヤマネ、ニホンザル、モモンガ等の哺乳類、ホシガラズ、コマドリ、アカショウビン等の鳥類等	平成2年3月29日
稲尾岳周辺	457	589	1,045	シイを中心とする暖温帯常緑広葉樹林帯に属し、山頂には一部モミ、ツガが混生	ニホンザル等の哺乳類、キリシマミドリシジミ、フチドリ、アツバコガネ、ムツボシ、シロカミキリ等の昆虫類等	平成6年3月22日
屋久島	9,601	5,585	15,185	世界的に稀な高齢ヤクスギ群とヤクシマチシダ等多数の固有種を含むシダ類や豊富な蘚苔類に特徴づけられる植生	ヤクシカ、ヤクザル、ヤクコマドリ、ヤクシマトゲトンボ、ヤクシマミドリシジミ等屋久島固有のものが多数	平成4年3月30日
西表島	3,011	8,574	11,585	スタジイの優占する照葉樹林、ガジュマル等の群落、メヒルギ、オヒルギ等のマングローブ林	イリオモテヤマネコ、リュウキュウイノシシ、ヤエヤマオオコウモリ等の哺乳類、カンムリワシ、リュウキュウキンバト等の鳥類等	平成3年3月28日
合計	168,524	151,494	320,018			

資料：林野庁業務資料

注：計の不一致は四捨五入による。

3 . 自然公園（国立公園、国定公園）

（1）制度の概要

自然公園法に基づき、我が国を代表するすぐれた自然の風景地やそれに準ずる地域については、それぞれ、国立公園と国定公園に指定されている。

全国で国立公園は28公園、国定公園は55公園指定されている（別紙参照）。

（2）指定

国立公園：我が国の風景を代表するすぐれた自然の風景地で、環境大臣が中央環境審議会の意見を聴いて指定し、国が管理をする。

国定公園：国立公園に準ずる自然の風景地で、都道府県の申出をうけ、環境大臣が中央環境審議会の意見を聴いて指定し、都道府県が管理を行う。

（3）公園計画

自然公園の保護と利用を適正に行うために、それぞれの公園ごとに公園計画が定められているが、これは保護計画と利用計画に大別される。

保護計画には、一定の公用制限のもとで風致景観の維持を図るため風致景観の特質、公園利用上の環境保全の必要性に応じて「特別保護地区」、「第1種、第2種、第3種特別地域」、「普通地域」に区分する保護規制計画や風致景観の保護や利用上の安全を確保するための保護施設計画がある。また、利用計画には適正な公園利用を図るために一定の利用を制限、禁止する利用規制計画と、利用施設を配置するための利用施設計画がある。

国立公園・国定公園一覧

国立公園名	面積(ha)
利尻礼文サロベツ	21,222
知床	38,633
阿寒	90,481
釧路湿原	26,861
大雪山	226,764
支笏洞爺	99,302
十和田八幡平	85,411
陸中海岸	12,212
磐梯朝日	186,404
日光	140,021
上信越高原	189,062
秩父多摩甲斐	126,259
小笠原	6,099
富士箱根伊豆	121,714

国立公園名	面積(ha)
中部山岳	174,323
白山	47,700
南アルプス	35,752
伊勢志摩	55,544
吉野熊野	59,798
山陰海岸	8,784
瀬戸内海	62,790
大山隠岐	31,927
足摺宇和海	11,166
西海	24,646
雲仙天草	28,287
阿蘇くじゅう	72,678
霧島屋久	54,833
西表	12,506

国定公園一覽

国定公園名	面積(ha)
暑寒別天売焼尻	43,559
網走	37,261
二七コ積丹小樽海岸	19,009
日高山脈襟裳	103,447
大沼	9,083
下北半島	18,728
津軽	25,966
早池峰	5,463
栗駒	77,122
南三陸金華山	13,902
蔵王	39,635
男鹿	8,156
鳥海	28,373
越後三山只見	86,129
水郷筑波	34,309
妙義荒船佐久高原	13,121
南房総	5,685
明治の森高尾	777
丹沢大山	27,572
佐渡弥彦米山	29,464
能登半島	9,672
越前加賀海岸	9,246
若狭湾	21,182
八ヶ岳中信高原	39,857
天竜奥三河	25,723
揖斐関ヶ原養老	20,219
飛騨木曾川	18,075

国定公園名	面積(ha)
愛知高原	21,705
三河湾	9,443
鈴鹿	29,821
室生赤目青山	26,308
琵琶湖	97,601
明治の森箕面	963
金剛生駒紀泉	23,119
氷ノ山後山那岐山	48,803
大和青垣	5,742
高野龍神	19,198
比婆道後帝釈	7,808
西中国山地	28,553
北長門海岸	12,384
秋吉台	4,502
剣山	20,961
室戸阿南海岸	6,225
石鎚	10,683
北九州	8,107
玄海	10,158
耶馬日田英彦山	85,024
壱岐対馬	11,950
九州中央山地	27,096
日豊海岸	8,516
祖母傾	22,000
日南海岸	4,542
奄美群島	7,861
沖縄海岸	10,320
沖縄戦跡	3,127

4 . 名勝・天然記念物

名勝及び天然記念物は「文化財保護法」に基づき指定されるものであり、わが国の多様な国土美の価値を代表する名勝と、貴重な自然を記念する天然記念物を文化財として保存している。

名勝には、日本庭園のような人為的に構成された人文的な景観の他に、自然の働きに由来し歴史や文化に支えられた風致景観を対象とする自然的名勝がある。また、天然記念物にも国土の成り立ちや自然を特徴づける動植物の他に、長い歴史を通じて文化的な活動により作り出された二次的な自然を対象とするものが多く指定されている。

名勝や天然記念物の指定は「特別史跡名勝天然記念物及び史跡名勝天然記念物指、定基準」に基づいて行われる。その際、自然的名勝では古来著名な風致景観に加えて土地の風土や時代、島国であり山国でもある国土の特色、伝統的な土地利用のあり方、信仰や行楽の対象地などに、天然記念物ではわが国の多様な自然と人が歴史を通じて様々に係わるなかで形成された自然物にもそれぞれ重点がおかれている。その結果、文化財としての自然的名勝や天然記念物は、特徴的な地域の景観とそれを構成する動植物や土地の履歴や風土に規定された動植物の種及びその群集生態系等を保護することに繋がる。また、指定基準では、天然記念物について、「動物」「植物」「地質鉱物」に分けて指定対象を分類しているほか、「保護すべき天然記念物に富んだ代表的一定の区域（天然保護区域）」もそれらと並列して指定対象としている。

指定された自然的名勝や天然記念物の適切な保護を図るため、法に基づき現状を変更する行為等の規制を行うほか、地方公共団体などが実施する現況把握と保存方策の調査・検討、保存管理計画の策定、動植物の保護増殖、特定の植生の維持・復元、指定地の買い上げなど一連の保護管理事業に要する経費への国庫補助が行われている。

名勝の種類別指定件数

平成12年4月1日現在

天然記念物の種類別指定件数

平成12年4月1日現在

分類	件数	分類	件数	分類	件数
庭園	160(23)	湖沼	2(1)	動物	191(21)
公園	4	湧泉	1	植物	534(30)
橋梁	2	海浜	26	地質・鉱物	211(20)
花樹	13	島	9(2)	天然保護区域	23(4)
松原	6(1)	砂嘴	1(1)	合計	959(75)
岩石、洞穴	11	山岳	15(2)	(注) ()内は特別天然記念物で内数である。	
峡谷、溪流	34(5)	河川	1	文化庁ホームページより	
瀑布	9	展望地点	9		
合計			303(35)		

(注) ()内は特別名勝で内数である。

天然保護区域一覧

県	名	名	称
北海道	釧路	湿原	釧路湿原
北海道	沙流川	源流	沙流川源流原始林
北海道	大	雪	大雪山
北海道	松前	小島	松前小島
北海道	標津	湿原	標津湿原
秋田	十和田湖	および	十和田湖および奥入瀬溪流
山形	形月		形月山
群馬	馬上野	檜原のシオジ	馬上野檜原のシオジ林
福島・群馬・新潟	尾		尾瀬
東京	京島		京島
東京	京南	硫黄	京南硫黄島
富山	黒部峡谷	附猿飛ならびに	黒部峡谷附猿飛ならびに奥鐘山
長野	野上	高地	野上高地
長野	野黒	岩	野黒岩山
三重	重大	杉	重大杉谷
長崎	崎男	女群	崎男女群島
長崎	崎阿	値賀	崎阿値賀島
宮崎	崎双	石	崎双石山
鹿児島	島稲	尾	島稲尾岳
鹿児島	島神屋	湯湾	島神屋・湯湾岳
沖縄	縄与那	覇岳天然保護区域	縄与那覇岳天然保護区域
沖縄	縄星	立天然保護区域	縄星立天然保護区域
沖縄	縄仲間	川天然保護区域	縄仲間川天然保護区域